



写真 開花盛期の「オオミナタネ」(左)と「ななしきぶ」(右)。

3. 結 果

3. 1 形態的特性

草型は“Ⅲ”で、第2本葉の形は“丸形”，葉色は“緑”で葉の欠刻は“深く”，葉および茎・莢のアントシアニンは“無”，花色は“黄色”で葯の赤点は“有”である。草丈は「オオミナタネ」より8cm長く“中”に属する。第1次分枝数は“中の少”で、「オオミナタネ」に比べ、総分枝数は少ない“中の少”で、1穂莢数は多く“中の多”で、粒色は“黒”である。(表1, 3)。

3. 2 早晩性

開花期は「オオミナタネ」より3日程度遅く、成熟期は「オオミナタネ」より4日程度遅く、熟期は中生である(表1, 3)。

3. 3 収量性

場内では、1999～2001年のa当たり子実重の平均値は30.8kgで、「オオミナタネ」対比108%である。現地での収量は、「オオミナタネ」と比べ同等からやや多である(表2, 4)。

表1 生 育 調 査

年次 区分等	品 種 名	抽苔期 (月.日)	開花期 (月.日)	成熟期 (月.日)	越冬 株率 (%)	菌核病 (0-5)	倒伏 (0-5)	草丈 (cm)	穂長 (cm)	第一次 分枝数 (本/株)	一穂 莢数
1999	ななしきぶ	3.11	4.10	6.5	98.7	0.0	0.5	131	50.0	5.6	52
2000		3.9	4.6	6.2	99.3	0.0	0.0	138	51.0	8.1	58
2001		2.27	3.24	5.27	99.3	0.0	0.0	127	57.9	6.9	72
1999	標)オオミナタネ	3.6	4.8	6.2	99.4	1.0	1.0	111	55.7	8.1	48
2000		3.6	4.2	5.28	98.3	0.5	0.0	137	56.0	10.1	55
2001		2.23	3.21	5.23	98.7	0.5	0.5	124	52.1	7.7	59
1999	比)キザキノナタネ	3.29	4.15	6.15	99.2	0.0	0.0	127	57.9	4.8	58
2000		3.23	4.10	6.8	98.5	1.0	0.0	137	56.4	7.3	61
2001		3.14	4.1	6.4	99.0	0.0	0.5	138	57.9	6.6	69
	ななしきぶ	3.6	4.3	6.1	99.1	0.0	0.2	132	53.0	6.9	61
平均	標)オオミナタネ	3.2	3.31	5.28	98.8	0.6	0.5	124	54.6	8.6	54
	比)キザキノナタネ	3.22	4.9	6.9	98.9	0.3	0.2	134	57.4	6.2	63

注；菌核病および倒伏は無(0)～甚(5)の6段階評価。

表2 収量調査

年次 区分等	品 種 名	全 重 (kg/a)	子実重 (kg/a)	対標準 比 率 (%)	リットル重 (g)	千粒重 (g)	粒 大 整 否	粒 色	穂発芽	外 観 品 質
1999	ななしきぶ	84.7	27.4	128	661	3.2	中整	黒	無	中上
2000		117.4	36.3	99	654	3.0	中整	黒	無	中上
2001		80.5	28.6	103	663	3.4	中整	黒	無	中上
1999	標)オオミナタネ	71.3	21.4	100	653	3.1	整	黒	無	上中
2000		128.4	36.8	100	663	3.0	整	黒	無	上下
2001		92.0	27.7	100	661	3.2	整	黒	無	上下
1999	比)キザキノタネ	87.8	25.8	121	671	3.3	中整	黒褐	微	中中
2000		125.2	36.4	99	680	2.6	中整	黒	微	中中
2001		101.4	34.9	126	675	4.1	中	黒	微	中中
平 均	ななしきぶ	94.2	30.8	108	659	3.2	中整	黒	無	中上
	標)オオミナタネ	97.2	28.6	100	659	3.1	整	黒	無	上下
	比)キザキノタネ	104.8	32.4	113	675	3.3	中整	黒	微	中中

注1；穂発芽は、無・微・小・中・甚の5段階評価。

注2；外観品質は、上上・上中・上下・中上・中中・中下・下の7段階評価。

表3 現地試験生育調査

試 験 場 所	品 種 名	年 次 区分等	抽苔期 (月.日)	開花期 (月.日)	成熟期 (月.日)	菌核病 (0-5)	倒伏 (0-5)	草丈 (cm)	穂長 (cm)	第一次 分枝数 (本/株)	一穂 英数
近江八幡市	ななしきぶ	2000	3.21	4.10	6.4	0.0	0.0	114	54.1	7.0	58
		2001	2.27	3.25	5.28	0.0	0.0	117	54.0	5.9	60
		平均	3.10	4.2	6.1	0.0	0.0	116	54.1	6.5	59
	標)オオミナタネ	2000	3.6	4.6	5.31	0.5	0.5	110	51.3	8.5	40
		2001	2.24	3.22	5.23	0.0	1.0	118	53.3	7.3	50
		平均	3.1	3.30	5.27	0.3	0.8	114	52.3	7.9	45
長浜市	ななしきぶ	2000	3.23	4.13	6.4	0.0	0.0	109	45.0	4.6	43
	標)オオミナタネ	2000	3.23	4.10	6.1	0.5	0.0	108	46.8	5.7	37
愛東町	ななしきぶ	2001	3.2	4.3	5.28	0.0	0.0	116	51.4	3.7	53
	標)オオミナタネ	2001	2.27	3.28	5.23	0.5	0.0	96	45.8	6.7	41

注；菌核病および倒伏は、無(0)～甚(5)の6段階評価。

表4 現地試験収量調査

試 験 場 所	品 種 名	年 次 区分等	全 重 (kg/a)	子実重 (kg/a)	対標準 比 率 (%)	リットル 重 (g)	千粒重 (g)	粒大 整 否	粒 色	穂発芽	外 観 品 質
近江八幡市	ななしきぶ	2000	75.3	22.7	104	656	3.2	中整	黒	無	中上
		2001	81.1	24.3	98	671	3.3	中整	黒	無	中上
		平均	78.2	23.5	100	664	3.3	中整	黒	無	中上
	標)オオミナタネ	2000	73.4	21.9	100	654	3.2	整	黒	無	上下
		2001	84.7	24.8	100	660	3.2	整	黒	無	中上
		平均	79.1	23.4	100	657	3.2	整	黒	無	上下
長浜市	ななしきぶ	2000	57.9	18.4	101	649	3.2	中整	黒	無	中上
	標)オオミナタネ	2000	56.2	18.2	100	651	3.1	整	黒	無	上下
愛東町	ななしきぶ	2001	89.4	27.4	119	668	3.4	中整	黒	無	上下
	標)オオミナタネ	2001	73.9	23.1	100	660	3.4	整	黒	無	上中

注1；穂発芽は、無・微・小・中・甚の5段階評価。

注2；外観品質は、上上・上中・上下・中上・中中・中下・下の7段階評価。

表5 品質調査(東北農研センター)

試験場所	品 種 名	試験年度	エルシン酸 (%)	オレイン酸 (%)	含油率 (%)
農業試験場	な な し き ぶ	1999~2001	0.0	65.1	44.6
	標)オオミナタネ		47.0	12.1	46.3
	比)キサ [*] キノナタネ		0.0	64.9	47.9
近江八幡市	な な し き ぶ	2000~2001	—	—	45.0
	標)オオミナタネ		—	—	48.9
長 浜 市	な な し き ぶ	2000	—	—	47.9
	標)オオミナタネ		—	—	48.6
愛 東 町	な な し き ぶ	2001	—	—	44.5
	標)オオミナタネ		—	—	47.3

3. 4 菌核病抵抗性

菌核病抵抗性は「オオミナタネ」と比べ同程度からやや強く“中の強”である(表1, 3).

3. 5 耐倒伏性

耐倒伏性は「オオミナタネ」と比べやや強く“強”である(表1, 3).

3. 6 品質

千粒重は3.2gで「オオミナタネ」と比べ同程度だが、粒大整否はやや劣る(表2, 4).

含油率は“中”, 子実の脂肪酸組成にエルシン酸を含まない無エルシン酸品種である(表5).

用する.

- ③越冬前の生育量を充分確保するために、適期播種を励行する.
- ④倒伏や菌核病の発生を助長するので過度の密植や多肥栽培は避ける.
- ⑤根こぶ病や菌核病、雑草害などの連作障害が発生し易いので連作は避ける.

謝 辞

品種選定試験の遂行に際し、滋賀県農業総合センター農業試験場栽培部作物担当の藤田清一郎氏ならびに松下弘氏のご協力を賜った。ここに記して謝意を表する.

4. 考 察

引用文献

4. 1 特性の概要

なたね「ななしきぶ」は、成熟期は4日程度遅い中生熟期で、「オオミナタネ」より草丈は長い、耐倒伏性は優り、多収で、機械化適性は高い。なお、脂肪酸組成にエルシン酸を含まない.

4. 2 適地および栽培上の留意点

なたね「ななしきぶ」は、県下全域の平坦地に広く適するが、栽培に際しては以下の点に留意する.

- ①なたねと交雑可能なアブラナ科植物とは十分に距離を離して栽培する.
- ②自家採種した種子を使用すると、無エルシン酸品種であっても交雑によりエルシン酸が発現することがあるので、栽培に際しては品種保証された種子を使

- 1) 農林省滋賀統計調査事務所編. 1962. 滋賀農林水産統計年報.
- 2) FAO/WHO合同専門委員会報告. 1980. 「人間の栄養における食用油脂の役割」金田尚志(監訳). 81-83. 医歯薬出版.
- 3) 農林水産技術情報協会編. 1983. 昭和57年度種苗特性分類調査報告書 種類名: なたね.